中小企業家同友会千葉西支部役員会インタビュー

日　　時：平成２７年１２月７日（月）１８：３０～１９：１０
場　　所：中小企業家同友会事務所

（1）現在、地域との繋がり、関わりはありますか？（CSR 含む）

・村田町の東映南自治会の自治会長をやっている。昨日ワークショップへの参加依頼があった。
・自治会と民間企業が絡めるのか疑問。地域は高齢者ばかり。
・地域の小中学校の社会科見学の受け入れを毎年４日間やっている（学校からの依頼）。
また、朝日新聞広告社が、朝日新聞ニュース（写真ニュース）を子供たちに見せたいということで、その会社に協賛をしている。
・千葉県塗装工業会で中学生ボランティアにヨットハーバーに絵を描いてもらっている。
・産業まつりで、自転車の安全運転の啓発のため、子ども免許証を無料で発行している。
・幕張エコメッセで業界団体による環境啓蒙を実施している。
・具体的に何かしてほしいとかであれば、それぞれの企業の得意分野があるが、まち全体のまちづくりまで考えるのは難しい。→市全体ではなく、地元（地域）で関われることで構わない。

（２）地域貢献にあたり、行政に支援してほしいことはありますか？

・廃校になった小学校など、使わなくなったハコモノの次の活用方法についての情報がない。
そういった情報が公開されれば、民間での活用方法なども検討できるのではないか。
・千葉西支部には、植栽専門の方や庭園専門の方などがいる。その中で出た話では、公園の管理をやらせてほしいという意見があった。私は自動車屋だが、千葉大教育学部との産学連携で遊具の研究をしている。しかし、公園は遊具だけではない。土もあり植栽もある。千葉西支部には遊具の専門、植栽の専門、都市計画プランナーの方もいる。そういった中小企業が集まる団体に任せてもらえれば、それぞれのプロフェッショナルがコミュニケーションを取りながら良い公園が作れる自負がある。
行政は、大手に投げて終わり。しかし結局その大手は、中小企業の下請け孫請けに投げて終わり。コスト的にも得ではないし、投げられた中小企業同士との横の繋がりもないし、情熱もない。
よって千葉には良い公園がない。直接、中小企業が集まる団体に任せてもらえれば、コストもかからないし、地元なので横の繋がりもあるし、情熱もあり良い公園が作れる。そういうところも行政には考えてほしい。人のいない公園は社会資本の無駄である。公園はコミュニティの場であり、子どもたちにとっては運動能力を高めたり社会性を養う場であり、高齢者にとっては憩いの場である。
千葉西支部にこういう仕事できますか、と投げてもらえれば１６０社集まっているので大体出来る。行政にはそういった切り口で、仕事の発注やアイデアの吸い上げをしてもらいたい。
・地域の課題や困りごとを支部の事務局に上げてもらうだけでも良いと思う。
　→行政は、情報や課題をあげていきたいと思う。
・印西市には北総線が走っている。運賃が高いため、同友会会員の方が北総線沿いにバスを走ら

せた。その方は、自治会など地域の声を集めることをずっとやってきていた。それを解決するには、企業の力がないと解決しないということに気づき実現した。

・地域のことを常に考える人がいないと、そういう風土がないと無理。高齢者ばかりの集まりに民間が入っていくのは難しい。

・課題の発信もそうだが、市がどういうビジョンを持っているかを発信していくことが必要。

・市民の捉え方を変えた方が良い。自治会や PTA の意見だけが地域を代表した意見ではない。多くはシニア層の意見。子育て世代や現役世代の意見も聞く必要があるのではないか。行政は市民の総意は何かというところをもう少し深堀りしてもらいたい。

→そう感じているので、本日、中小企業の皆様からも意見を伺いたいと思い、お時間をいただいた。

（３）今後、企業としてどのような形でまちづくりに関われますか？

・企業なので経営ありき。自分の仕事になるものでないと関われないのではないか。

→地域と企業がお互い win-win の関係になっていければ稼いでも良いと考えている。

・地域には、自治会や PTA、青少年育成委員会などがある。それがベースになっている。企業がボランティアで入るのは難しい。

→課題に応じて地域の集まりなどに入っていただければ良く、日常的に会合に参加しなくても良いと思う。

・今は儲からなくても、最終的に利益に繋がればという考えを経営者はしている。即物的な利益を求めているわけではなく、大局的に見て最終的に利益に繋がれば動く。お金を貰えなければやらないというわけではない。そういう理由で、ルミラージュや花火大会などに協賛している。

・中心市街地を盛り上げたいという気持ちで、ちーバル等は手弁当でやっている。しかし、千葉駅舎が来年一部出来て、パルコは閉館するが、今後どうなっていくかが皆不安。中心市街地のビジョンが見えない。

・千葉市の究極のグランドデザインはコンパクトシティだと思うが、この取り組みはそれと矛盾しているように感じる。

・花見川の端は、最寄駅が勝田台で八千代市である。この辺の人は、八千代市にお金を落としている。花見川団地は大きい団地なのに住んでいる人が少ない。学校も無くなってきている。

・ベイタウンに十何年住んでおり音楽業をやっている。自治会にも入っているが、一回も街のお祭りに出してもらったことが無い。市に相談しても地域聞いてくれと言われ、地域に聞いても市に言ってくれと言われる。自治会はお年寄りばかりで、しきたりのように脈々と受け継がれているものがあるようで、そこに中小企業が入ってお話をしても相手にされない。

・登録制のようなものにして、こういう問題があればこの企業にお願いするというような仕組みができれば良いと思う。